

# 平成27年国勢調査の検討状況について



総務省統計局国勢統計課

平成25年7月19日



# 平成27年国勢調査の検討状況について

## 第1次試験調査（平成24年7月実施）

### 【主な検証事項】

- ・オンライン調査の手法に関する検証
  - －諸外国における人口センサスの実施状況を踏まえ、オンライン調査を先行する方式と紙の調査票と同時に実施する方式について比較検証

## 第2次試験調査（平成25年6月実施）

（調査日：6月20日、現在結果集計中）

### 【主な検証事項】

- ・モバイル端末によるオンライン調査の実施
  - －スマートフォンやタブレット専用のオンライン調査票を作成
- ・インターネットや郵送での提出状況の把握・調査員への伝達
  - －オンラインや郵送での調査票の提出状況を管理し、調査員への伝達を容易にするためのシステムの構築・検証
- ・調査員回収における任意封入方式による実施
  - －統計委員会の意見を踏まえ、増加する高齢者世帯への対応等を行うため、回答者の任意で調査員によるサポートを受けることを可能とする。

※両試験調査ともに、「5年前居住地」を調査項目として含めて実施

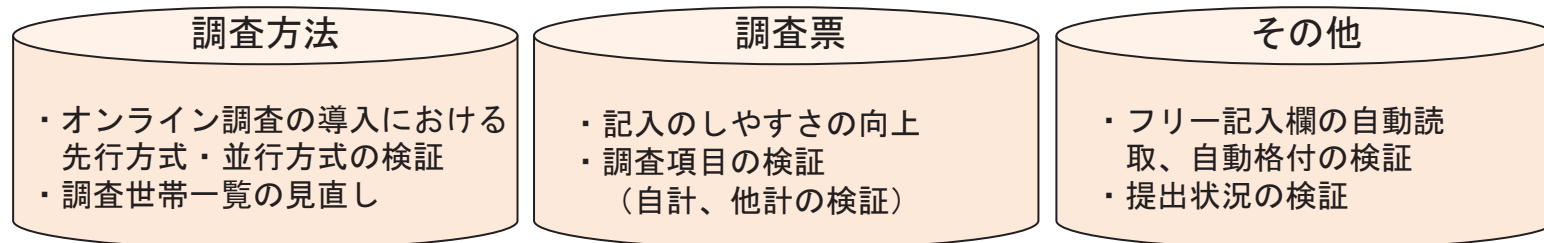
⇒来年6月頃、本調査を想定したリハーサルとして、第3次試験調査を実施予定。  
試験調査の結果を踏まえ、本調査の実実施計画を策定し、来年度、統計委員会に  
諮問予定。

# 平成27年国勢調査 第1次試験調査の概要

## 期日・地域

- ◆調査期日： 平成24年7月12日（木）（平成27年10月1日と同じ曜日を設定）
- ◆調査地域： 7府県14市町（384調査区、約19,000世帯）

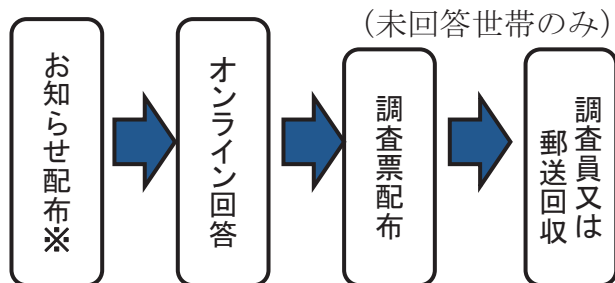
## 検証事項



## 調査方法

### 《先行方式》

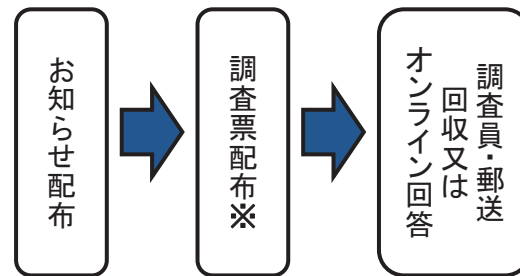
オンラインによる回答（提出）を、他の方法による回答（提出）よりも前の段階（期間）に設定する方式



※ID、確認コード配布

### 《並行方式》

オンラインによる回答（提出）と紙の調査票による回答（提出）を、同じ段階（期間）に設定する方式



※ID、確認コード配布

# 先行方式・並行方式のオンライン回答率

◆先行方式のオンライン回答率は 25.3%

◆並行方式のオンライン回答率は 6.5%

※参考：平成22年国勢調査のオンライン回答率は 8.3%

表1-1 市区町別オンライン回答件数等(先行方式)

市区町	オンライン回答件数	世帯総数	オンライン回答率(%)
段階方式計	2,452	9,708	25.3
10464 玉村町	318	1,280	24.8
14206 小田原市	384	1,555	24.7
24202 四日市市	505	1,633	30.9
27102 大阪市都島区	313	1,215	25.8
32203 出雲市	406	1,640	24.8
38201 松山市	419	1,567	26.7
41425 白石町	107	818	13.1

表1-2 市区町別オンライン回答件数等(並行方式)

市区町	オンライン回答件数	世帯総数	オンライン回答率(%)
並行方式計	584	9,015	6.5
10202 高崎市	74	1,267	5.8
14136 川崎市	174	1,688	10.3
24204 松阪市	55	1,261	4.4
27203 豊中市	105	1,433	7.3
32505 吉賀町	11	362	3.0
38202 今治市	59	1,600	3.7
41201 佐賀市	106	1,404	7.5

表2-1 地域特性別オンライン回答件数等(先行方式)

地域特性	オンライン回答件数	世帯総数	オンライン回答率(%)
段階方式計	2,452	9,708	25.3
オートロックマンション	867	2,412	35.9
ワンルーム	368	2,272	16.2
一戸建ての多い地域	678	2,380	28.5
その他共同住宅等	539	2,644	20.4

表2-2 地域特性別オンライン回答件数等(並行方式)

地域特性	オンライン回答件数	世帯総数	オンライン回答率(%)
並行方式計	584	9,015	6.5
オートロックマンション	211	2,323	9.1
ワンルーム	172	2,566	6.7
一戸建ての多い地域	82	2,111	3.9
その他共同住宅等	119	2,015	5.9

# 回答者へのアンケート結果

## オンライン回答した世帯のアンケート

◆39歳以下の年齢階級では、過半数が、スマートフォンなど携帯端末でのオンライン回答を希望している。

表3 アンケート回答者の年齢階級別 スマートフォンなどの携帯端末でのオンライン回答を希望する人の割合

		総数				
		39歳以下	40歳～59歳	60歳以上	無記入・不詳	
総数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	希望する	40.8	57.6	38.1	19.7	39.5
	希望しない	59.2	42.4	61.9	80.3	60.5
実数(アンケート回答数)		2,952	534	1,064	1,320	34

表4 アンケート回答者の年齢階級別 オンライン回答しなかった理由(複数回答可)の割合

	先行方式					並行方式				
	39歳以下	40歳～59歳	60歳以上	無記入・不詳		39歳以下	40歳～59歳	60歳以上	無記入・不詳	
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
インターネットの設備がないから	41.4	27.7	33.6	53.4	35.3	27.8	14.0	15.5	43.9	50.0
インターネットの使い方がわからないから	11.4	3.4	10.2	15.7	8.8	9.6	2.7	8.9	13.4	3.3
セキュリティが不安だから	5.9	5.6	9.5	3.2	2.9	7.4	7.0	11.7	4.2	0.0
途中までやってみたが、やめた	4.1	2.8	2.7	5.5	8.8	2.6	1.4	1.6	4.0	3.3
操作ガイドで推奨された利用環境になかった	0.7	1.3	0.6	0.6	0.0	0.2	0.1	0.0	0.4	0.0
紙の調査票の方が回答しやすいから	30.5	37.6	33.0	26.1	14.7	45.6	61.7	53.1	32.5	20.0
その他	13.0	25.5	15.4	5.7	23.5	12.5	16.9	16.6	7.0	20.0
無記入・不詳	4.4	2.1	2.7	6.2	23.5	4.7	1.6	1.9	8.1	20.0
実数(アンケート回答数)	2,952	534	1,064	1,320	34	3,496	700	1,248	1,518	30

## オンライン回答しなかった世帯のアンケート

◆オンライン回答しなかった理由をみると、先行方式では「インターネットの設備がないから」が最も高く、並行方式では「紙の調査票の方が回答しやすいから」が最も高くなっている。

# 平成27年国勢調査 第2次試験調査の概要

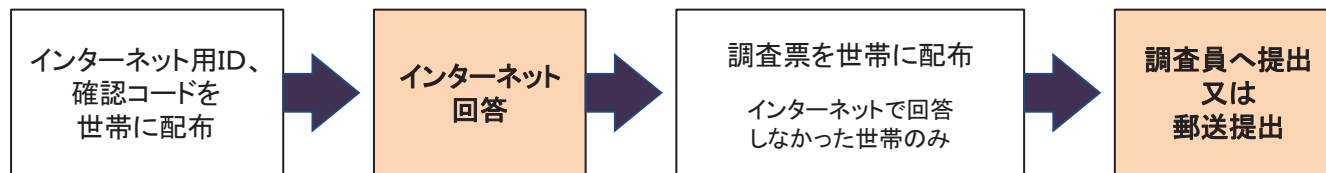
## 期日・地域

- ◆調査期日： 平成25年6月20日（木） （平成27年10月1日と同じ曜日を設定）
- ◆調査地域： 7都府県14市区町、168調査区（各市区町12調査区）、約8,400世帯
  - 秋田県：秋田市、横手市
  - 石川県：白山市、中能登町
  - 広島県：広島市、尾道市
  - 大分県：大分市、佐伯市
  - 東京都：中央区、足立区
  - 京都府：京都市、八幡市
  - 香川県：高松市、東かがわ市

## 調査方法

- ◆世帯からの回答は、調査員提出、郵送提出、インターネット回答いずれかによる。  
なお、インターネット回答は、調査員提出・郵送提出に先行して回答期間を設定。

※一部の市区町では、回答方法を調査員提出、インターネット回答とする。



※世帯番号に対応したインターネット用IDを付与

## 検証事項

- ① **モバイル端末によるオンライン調査の実施** : モバイル端末専用の調査票を作成  
⇒ 若年層のインターネットの利用形態に対応した回答方法の提供
- ② **記入の支援等が必要な世帯への対応** : 任意封入提出方式による実施  
⇒ 高齢者など、記入の支援や記入内容の確認などを必要とする世帯への対応
- ③ **調査票の提出状況管理** : インターネット回答や郵送提出状況の把握、調査員への伝達  
⇒ (インターネット回答)世帯番号に対応した「インターネット回答用ID」を設定  
⇒ (郵送提出)世帯番号に対応した「バーコード」を返信用封筒にプレプリント
- ④ **マンション対策** : ワンルームマンションなどの面会困難世帯への調査手法の検証  
⇒ 実査を通じて、面会困難世帯への対処方策と課題を抽出
- ⑤ **その他**  
⇒ 調査票のサイズの大型化(変形A4判)、文字の拡大、レイアウトの変更  
⇒ 3名連記式と4名連記式の比較 等